

第11回教育委員会定例会 案件表

○ 日 時

令和3年6月10日(木) 午前10時00分から

○ 議 題

1 議 案

- (1) 議案第54号 練馬区子ども・子育て会議委員の選定に関する意見について (資料1)

2 陳 情

- (1) 平成19年陳情第4号 「八の釜の湧き水」と憩いの森の消失に関する陳情について
〔継続審議〕
- (2) 平成23年陳情第4号 災害時と放射能対策に関する陳情書〔継続審議〕
- (3) 平成23年陳情第20号 子ども達を放射能汚染、特に内部被曝から守るための陳情書
〔継続審議〕
- (4) 平成25年陳情第9号 都市計画道路補助135号線の整備計画(素案)の抜本的見直しを求める陳情〔継続審議〕
- (5) 平成26年陳情第1号 都市計画道路補助第135号線整備計画(素案)の撤回を求める陳情〔継続審議〕
- (6) 平成26年陳情第2号 特別支援学級での肢体不自由児への対応を求めることについて
〔継続審議〕
- (7) 平成27年陳情第6号 情緒障害等通級指導学級での指導の存続と情緒障害児教育の充実・発展を求める陳情〔継続審議〕
- (8) 平成27年陳情第9号 区立小中学校への「学校司書」配置を求める陳情書〔継続審議〕
- (9) 令和元年陳情第3号 大泉第二中学校の教育環境保全に関する陳情〔継続審議〕
- (10) 令和元年陳情第4号 大泉南小学校の教育環境保全に関する陳情〔継続審議〕
- (11) 令和3年陳情第1号 学校情報化施策の更なる推進に関する陳情書〔継続審議〕 (資料2)

3 協 議

- (1) 旭丘・小竹地区における新たな小中一貫教育校の設置について〔継続審議〕

4 報 告

- (1) 教育長報告
① その他

議案第54号

練馬区子ども・子育て会議委員の選定に関する意見について

上記の議案を提出する。

令和3年6月10日

提出者 教育長 河 口 浩

練馬区子ども・子育て会議委員の選定に関する意見について

このことについて、練馬区子ども・子育て会議条例（平成25年6月練馬区条例第52号）第3条の規定に基づき、練馬区長から参考資料のとおり意見を求められたので、別紙のとおり回答する。

別紙

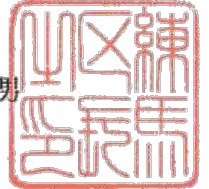
練馬区子ども・子育て会議委員の選定に関する意見について

練馬区子ども・子育て会議委員の選定について、当委員会として同意します。

3 練教こ子第 10031 号
令和 3 年 6 月 4 日

練馬区教育委員会 殿

練馬区長 前川 耀男



練馬区子ども・子育て会議委員の選定に関する意見聴取について

練馬区子ども・子育て会議委員の選定に当たり、練馬区子ども・子育て会議条例第 3 条の規定に基づき、下記のとおり貴委員会の意見をお聴きします。

記

1 委員の構成

練馬区子ども・子育て会議は、つぎに掲げる者につき、区長が教育委員会の意見を聴いて委嘱する委員 15 人以内をもって組織する。

- (1) 子どもの保護者 5 人
- (2) 事業主を代表する者 2 人
- (3) 子ども・子育て支援事業に関する事業に従事する者 5 人
- (4) 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者 2 人
- (5) その他区長が必要と認める者 1 人

2 委員名簿

別紙のとおり

3 任期

2 年 (令和 3 年 7 月 1 日から令和 5 年 6 月 30 日)



令和3・4年度 練馬区子ども・子育て会議 委員名簿

(構成区分別・50音順、敬称略)

(1) 法第6条第2項に規定する保護者

No.	氏 名	備 考
1	熊谷 香苗	公募委員
2	斎藤 健二	公募委員
3	仙波 愛優佳	公募委員
4	檜垣 真衣	公募委員
5	吉田 威朗	公募委員

(2) 事業主を代表する者

1	小池 道子	東京商工会議所練馬支部 (株)イナ・エステート
2	鈴木 健之	練馬産業連合会 (株)吉原組

(3) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者

1	梅澤 めぐみ	民設学童保育運営者 りっこう学童クラブ
2	田中 泰行	練馬区私立幼稚園協会 向南幼稚園
3	土田 秀行	東京都社会福祉協議会 児童部会 錦華学院
4	戸田 了達	練馬区私立保育園協会 妙福寺保育園
5	森山 瑞江	練馬区障害者団体連合会 練馬手をつなぐ親の会

(4) 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者

1	小櫃 智子	東京家政大学 教授
2	藤岡 孝志	日本社会事業大学 教授

(5) その他区長が必要と認める者

1	大橋 寿恵	練馬区民生児童委員協議会
---	-------	--------------

令和 3 年 6 月 10 日
教育振興部教育施策課

学校情報化施策について

1 陳情要旨

- 1 区立小中学校に配備される予定のタブレットを用い、教職員の働き方改革の観点からも、配布物のオンライン化や出欠・成績の管理等、校務全体のデジタル化を推進し、早期に実施してください。
- 2 タブレットによるオンライン授業や課題配布等、あらゆる手段で「学びの保障」を確保してください。

2 学校情報化の推進について

区では、学校（園）における ICT 環境を効果的かつ効率的に整備するため、「みどりの風吹くまちビジョン」および「練馬区教育・子育て大綱」を踏まえ、「練馬区学校 ICT 環境整備計画（平成28年度～令和2年度）」を策定し、計画的に環境整備を進めてきた。また、国が GIGA スクール構想を掲げるなかで、令和2年度に計画を大幅に前倒しし、全児童・生徒に一人1台のタブレットパソコンの配備を完了した。

今後は、ICT 機器を有効に活用して効果的な授業等を実施するとともに、教員のサポート体制を充実し、児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな学びを推進していく。

3 学校情報化に係る主な取組について

(1) 教室の ICT 環境の整備

平成28年度	校内有線LAN	全校整備
平成29年度	大型ディスプレイ・実物投影機等	モデル校へ配備
令和元年度	タブレットパソコン	モデル校へ配備
	大型ディスプレイ・実物投影機等	全校全普通教室へ配備
令和2年度	タブレットパソコン	全児童・生徒へ一人1台配備

(2) 教員の ICT 利活用の推進

モデル校の取組

- 平成28年度～ 教育 ICT 機器整備モデル校（6校）の選定
大型ディスプレイ・実物投影機等を活用した授業の研究
利活用研究成果報告書による全校への情報発信

平成30年度～ タブレットパソコン等利活用モデル校（2校）の選定
タブレットパソコン等を活用した授業の研究
利活用研究成果報告書による全校への情報発信

研修の実施

平成29年度～ ICT利活用に関する研修の実施

ICT支援員の派遣

平成23年度～ 教員のサポートのためICTの専門家である支援員を派遣

(3) 校務関係システムの導入

平成26年度 全校統一校務支援システム 運用開始

令和元年度 学校徴収金管理システム 運用開始

令和3年度 教職員出退勤管理システム 運用予定

4 令和3年度の実施について

(1) (仮称) ICT実践事例集の作成

すべての教員がICTを使って効果的な授業が行えるよう、モデル校の授業での事例等を幅広く集め、実践事例集を作成する。

(2) ICT活用推進リーダー育成研修の実施

各校においてICT機器活用の中心的役割を担うリーダーを育成する。

(3) ICT支援員の増員

授業づくりのコツや効果的な使い方等について助言を行うなど、教員をサポートする支援員を現在の14名から28名に倍増し、支援体制の強化を図る。